

日本語教育研究科修士論文題目一覧

請求記号	学位授与日	主査	修士論文題目・副題	閲覧許可	備考
08A01	2008/03/15	川上	「多文化社会で生きる力」の獲得を目指す日本語教育 オーストラリア・ヴィクトリア州のJFL高校生を対象に	可	
08A02	2008/03/15	川上	在籍クラス教師のJSL児童生徒への教育「専門性」育成へ向けて アメリカの教員養成・研修におけるアプローチから	可	
08A03	2008/03/15	宮崎	アカデミック接触場面における外国人留学生の調整行動 アカデミック・スピーキングに関する分析を通して	可	
08A04	2008/03/15	川上	年少者日本語教育における「教科」と「日本語」の連携 国語科教科書の「リライト教材」による実践	可	
08A05	2008/03/15	川上	年少者日本語教育実践の動態性 「子どもの実態」と「実践者の問題意識」から実践を考える	不可	
08A06	2008/03/15	佐久間	上級日本語学習者による電子文書の読解に関する研究	不可	
08A07	2008/03/15	川上	年少者日本語教育における語彙教育の意義 JSL児童の語彙獲得場面から育む力を考える	可	
08A08:1~2	2008/03/15	川口	日本語のバリエーション 現代口語会話の語彙を中心に	可	2冊
08A09	2008/03/15	鈴木	文脈指示を中心とした日中指示詞の対照	可	
08A10	2008/03/15	細川	「教室と社会の関係を捉えなおす」 「インターアクションによる教室社会・コミュニティ形成」を目指して	不可	
08A11:1~2	2008/03/15	小宮	文体を意識した日本語教育のために 文章の「硬さ」の調査を中心として	可	閲覧は本冊のみ 可。資料は不可。
08A12	2008/03/15	川上	JSL生徒に対する「内容」と「ことば」を統合した日本語読解支援 スキヤフォールディングと子どもの主体性の視点から	可	
08A13	2008/03/15	細川	日本語教育における主体性の問題 日本語教育機関における公共的空間としての教室デザインの試み	不可	

請求記号	学位授与日	主査	修士論文題目・副題	閲覧許可	備考
08A14	2008/03/15	川口	非漢字圏初級日本語学習者を対象とした漢字指導法を考える キルギスの日本語学習者の漢字学習ストラテジーと学習スタイル調査の結果に基づいて	可	
08A15:1~2	2008/03/15	鈴木	聞き手の私的領域に関わる質問表現について 日中のインタビュー会話をもとに	不可	2冊
08A16	2008/03/15	戸田	先行母音長及び先行モーラ長が促音の知覚に与える影響	可	
08A17	2008/03/15	宮崎	学習者同士のインターアクションが日本語学習過程に与える影響 日常会話場面における言語管理と学習環境の観点から	可	
08A18:1~2	2008/03/15	蒲谷	初対面会話において相手に与える印象に関わる要因 「継続的人間関係」の二者間会話をもとに	不可	2冊
08A19:1~2	2008/03/15	蒲谷	「敬語」の捉え方に関する研究 日本語学習者・日本語教師へのインタビュー調査を中心に	可	2冊
08A20	2008/03/15	鈴木	空間表現“上”(「(の)上」)の用法に関する考察 日中両語の対照比較から見た特徴	不可	
08A21	2008/03/15	小宮	日本語教育における複合動詞「～出す」の指導語彙の選定	可	
08A22	2008/03/15	鈴木	日中両語のアスペクトに関する考察 「夕」と“了”を中心に	可	
08A23:1~2	2008/03/15	川上	タイの補習授業校における継承日本語教育の可能性 絵本を活用した支援を通してことばを育む	可	2冊
08A24:1~2	2008/03/15	吉岡	中上級教科書における「ネガティブコミュニケーション」についての研究 「ネガティブコミュニケーション」によく現れる表現を中心に	可	2冊
08A25	2008/03/15	宮崎	定住者に対する日本語習得支援に関する一考察 夜間中学校日本語学級でのフィールドワークから	可	
08A26	2008/03/15	川口	初級段階の「表現指導」における「環境を見抜く力」育成 日本語教育に対するSGAV教授法の導入に関して	可	
08A27	2008/03/15	小林	無標識可能表現と有標識可能表現の使い分け 「有対自動詞による可能表現」と「有対他動詞による可能表現」を対象に	可	

請求記号	学位授与日	主査	修士論文題目・副題	閲覧許可	備考
08A28	2008/03/15	鈴木	変化表現の日中対照研究 「ナル変化構文」を中心に	可	
08A29	2008/03/15	戸田	台湾人日本語学習者による語アクセントと発音評価の相関 上級学習者を対象に	可	